

【ご参考】 2023年3月期 決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

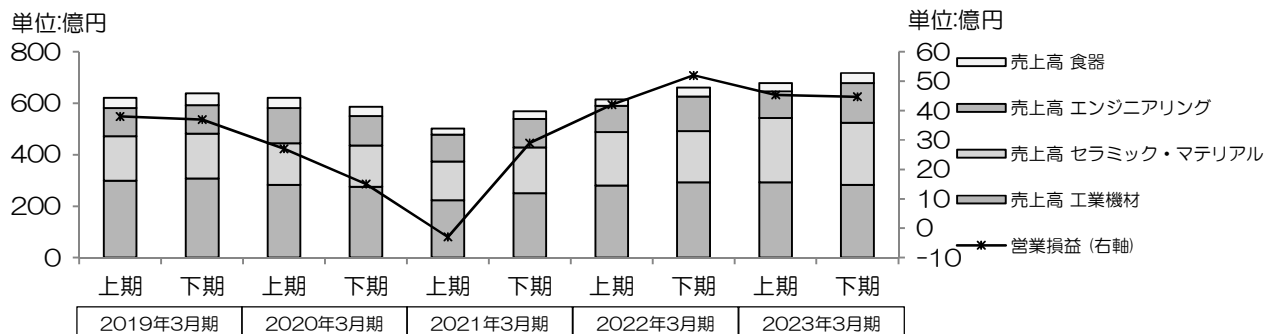
【業績】	
売上高	1,395億円（前期比 119億円増収）
	US\$25.63円の円安、THB 0.41円の円安、CNY 2.59円の円安により、売上高 41.4億円増加
営業利益	90億円（前期比 4億円減益）
経常利益	124億円（前期比 1億円減益）
親会社株主に帰属する当期純利益	100億円（前期比 10億円増益）
【連結の範囲】	
連結会社	22社（1社減少）
持分法適用会社	4社（増減なし）
【特別損益】	
特別利益	12.5億円：投資有価証券売却益 10.3億円、固定資産売却益 2.3億円
特別損失	10.7億円：固定資産処分損 5.1億円、投資有価証券評価損 4.3億円等
【期末配当金】	
期末配当	115円/株（年間 205円/株）（前期年間 150円/株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	対前期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	通期実績	
売上高	工業機材	606	558	474	573	575	1
	セラミック・マテリアル	348	322	328	407	492	85
	エンジニアリング	219	251	214	236	259	23
	食器	85	75	54	60	69	9
		1,258	1,206	1,070	1,276	1,395	119
営業利益	工業機材	23.2	0.9	△ 12.3	30.6	23.5	△ 7.0
	セラミック・マテリアル	36.9	22.2	31.0	54.2	48.4	△ 5.8
	エンジニアリング	22.5	27.8	20.0	20.5	20.5	△ 0.0
	食器	△ 7.7	△ 8.9	△ 13.1	△ 11.8	△ 2.8	9.0
		74.8	42.1	25.6	93.5	89.7	△ 3.8
(売上高営業利益率)		(5.9%)	(3.5%)	(2.4%)	(7.3%)	(6.4%)	-
経常利益		97.6	63.1	44.8	125.1	124.1	△ 1.0
特別利益		28.4	1.3	1.8	1.4	12.5	11.1
特別損失		2.8	14.7	5.7	11.6	10.7	△ 0.9
親会社株主に帰属する当期純利益		97.1	34.2	28.1	90.7	100.2	9.6
1株当たり当期純利益		675.77円	237.22円	194.54円	628.27円	694.56円	-
1株当たり純資産		7,219.82円	6,986.33円	7,684.78円	8,183.66円	8,881.90円	-
US\$ 為替レート		110.4円	109.2円	106.4円	110.4円	136.0円	-

半期毎の売上高及び営業損益の推移（2019年3月期-2023年3月期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2022年3月期		2023年3月期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	16	20	31	19
セラミック・マテリアル	16	15	18	16
エンジニアリング	4	2	3	2
食器	3	3	3	3
管理部門	10	7	7	7
合計	49	47	61	48

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2019年3月	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	対前期比
有利子負債*	48	51	79	65	125	60
現金及び預金	141	126	123	142	146	4
ネット有利子負債	△ 93	△ 75	△ 44	△ 77	△ 22	55

* 有利子負債には、リース債務は含めておりません。

2. 2024年3月期の計画

(1) 重点施策

【工業機材】
<ul style="list-style-type: none"> ・前期に事業をオーダーメイド品と汎用品に再編。効率的な事業体制を構築します。 ・オーダーメイド品事業では、成長領域向け製品の増産体制の確立、販売拠点の整備等により、収益基盤を強化します。また、半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発を進めます。 ・汎用品事業では、前期に連結子会社2社を合併し一本化した事業体制のもと、経営基盤の効率化と製造・販売体制の再編を行い、収益力を強化します。また、エレクトロニクス向け製品の増産体制と、成長領域への進出に向けた製造・開発・営業体制を構築し、経営資源の集中を図ります。
【セラミック・マテリアル】
<ul style="list-style-type: none"> ・電子ペーストは、エレクトロニクス分野において、製品ラインナップの拡張と新商品の開発を進めます。 ・電子部品材料は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力の増強を引き続き行うとともに、成長領域における新商品の開発を進め、事業の拡大を図ります。 ・事業の選択と集中、新商品・新事業の創出により、事業ポートフォリオの再構築を図ります。
【エンジニアリング】
<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー、エレクトロニクス分野では、拡販とアフターサービス体制の強化、新商品の投入によりシェアの拡大を図ります。自動車分野では、電動化に伴う新用途・新商品の開発を進めます。 ・新しい分野（医療・医薬、半導体、新素材）への参入と市場の開拓、環境分野での新用途・新商品の開発を強化します。 ・2023年4月1日付で超硬丸鋸切断機に係る事業を連結子会社へ承継。インフラ市場での拡販を図ります。
【食器】
<ul style="list-style-type: none"> ・国内は、オンライン販売の強化とホテル・レストラン向けの拡販を進めるとともに、流通販路・物流の再整備による経費削減を図ります。 ・海外は、成長市場であるインド、中国、東南アジア等主要国への拡販と米国の収支改善に取り組みます。
【設備投資金額】
設備投資 80億円 減価償却費 50億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2023年 3月期	2024年3月期 業績予想				
		通期実績	上期予想	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	575	295	300	595	20
	セラミック・マテリアル	492	230	240	470	△ 22
	エンジニアリング	259	120	160	280	21
	食器	69	30	35	65	△ 4
		1,395	675	735	1,410	15
営業利益	工業機材	23.5	11	12	23	△ 1
	セラミック・マテリアル	48.4	22	26	48	△ 0
	エンジニアリング	20.5	6	14	20	△ 1
	食器	△ 2.8	△ 1	△ 0	△ 1	2
		89.7	38	52	90	0
経常利益		124.1	53	67	120	△ 4
親会社株主に帰属する当期純利益		100.2	47	53	100	△ 0

(想定為替レート US\$=130円)